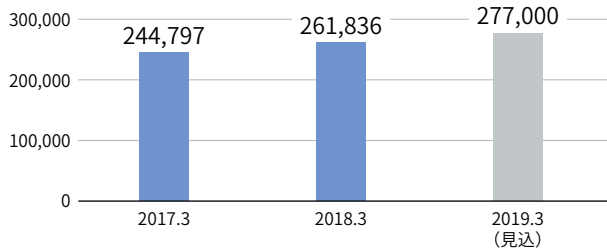


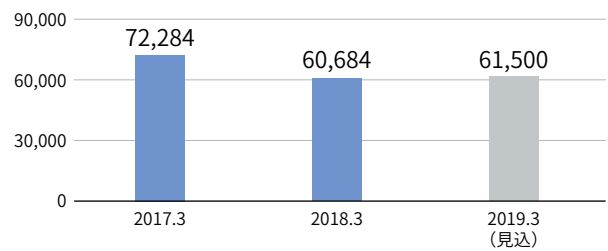
財務情報

売上収益(百万円)



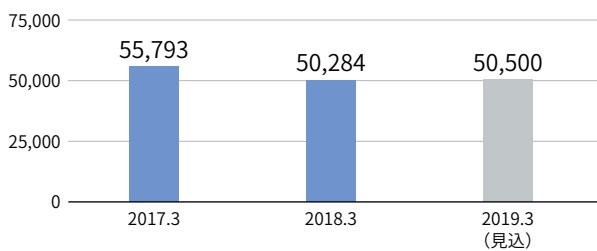
オブジーボの国内薬価引き下げによるマイナスの影響をロイヤルティ収入増や主要新製品の売上拡大で補い、前期比7.0%の増収となりました。

営業利益(百万円)



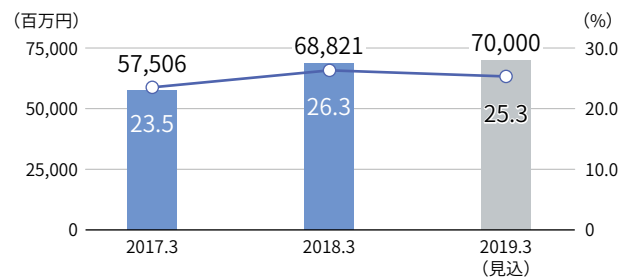
研究開発費、販売費及び一般管理費が増加したことや、前期に計上した特許侵害訴訟に伴う和解一時金の反動などの影響により、前期比16.0%の減益となりました。

当期利益(親会社の所有者帰属分)(百万円)



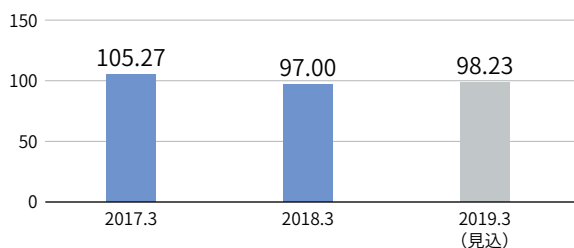
金融収支は対前期比で増加しましたが、営業利益の減少により、前期比9.9%の減益となりました。

研究開発費/対売上収益比率(百万円/%)

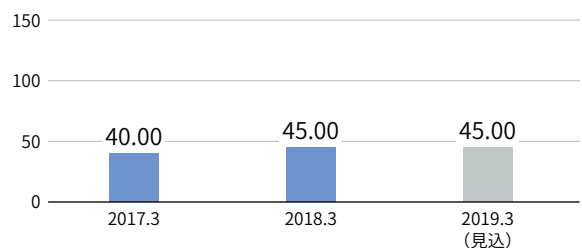


積極的な研究開発活動を継続しており、オブジーボ関連の治験や委託研究・共同研究が増えたことにより、研究開発費は前期と比較して19.7%増加しました。

基本的1株当たり当期利益(円)



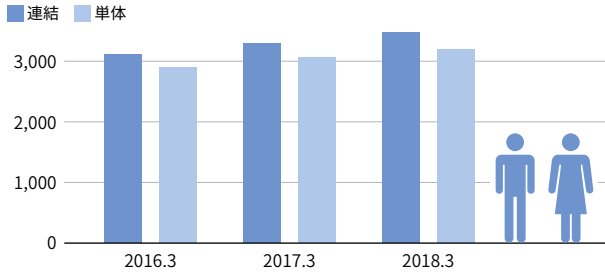
1株当たり配当金(円)



株主の皆様への利益配分を経営の重要政策の一つと位置付け、安定的な配当の継続を重視しつつ、業績に応じた成果の配分を行っていきたく考えています。

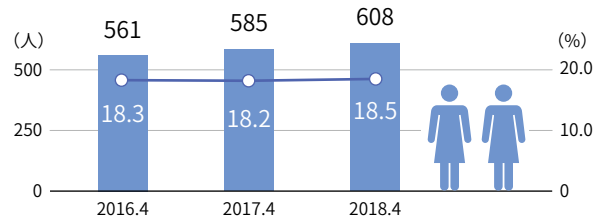
非財務情報

従業員数(人)



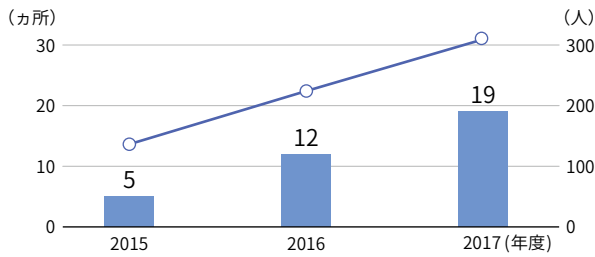
新卒採用に加え、キャリア採用や多様な人財の受け入れを進め、企業基盤の強化を図っています。▶ P41 人財・人権

女性従業員数／比率(人/%)



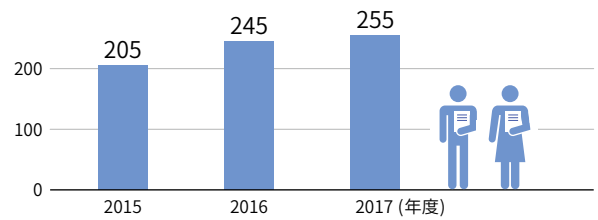
女性が生き生きと活躍できる体制づくりに注力し、さまざまな施策を進めた結果、2011年以降、すべての部門で女性社員数が増加しています。▶ P41 人財・人権

CSR活動「リレー・フォー・ライフ」参加実績(カ所/人)



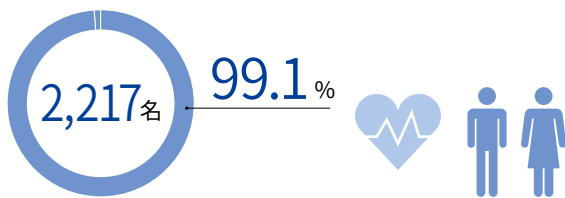
がん患者さんとそのご家族を支援し、地域全体でがん向き合い、がん征圧をめざす活動「リレー・フォー・ライフ」に2014年度から参加しており、参加回数、参加人数ともに増加しています。▶ P45 社会

機関投資家会議(面談/電話会議)(件)



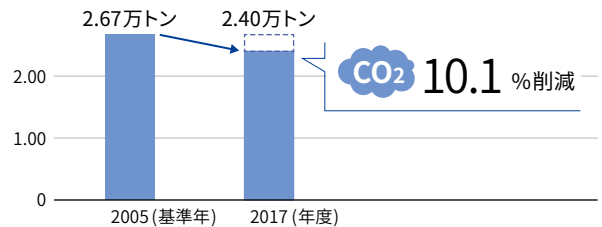
「正確・公平・公正・迅速」を基本姿勢として情報発信に取り組んでおり、海外・国内の投資家との面談や電話会議などを積極的に実施しています。▶ P34 情報開示

人間ドック受診率(2018.2)



トップダウンで社員とその家族の健康保持・増進に積極的に取り組んでおり、疾病予防、病気の早期発見や早期治療のサポート体制を整備しています。▶ P44 健康経営

エネルギー起源CO₂排出量(万t-CO₂)



環境自主行動計画を作成し、数値目標を設定して取り組んでいます。▶ P47 環境
データ集計サイト：フジヤマ工場、城東工場、水無瀬研究所、福井研究所、筑波研究所